

システム概要図

本システムは、「解析システム」と「検索・閲覧システム」の2つのシステムを連携することで構成されている。

- ・解析システムが、消防庁の救急搬送情報を受け、救急搬送情報データベースの作成・更新と解析を行い、出来上がったデータベースと解析結果を送付する。
- ・各利用者は、閲覧・検索システムに格納されたデータを閲覧する。
- ・システム本体（管理サーバー、解析システムPC）は、東京都健康安全研究センター（健安研）に設置されている。

救急搬送サーベイランスシステム（検索・閲覧システム）

【メイン稼働サーバ】

アプリケーション/データベースサーバ

.Net

PostgreSQL

IIS

ESET Server
Security

OS : Windows Server2022 Std

【予備サーバ】

アプリケーション/データベースサーバ

.Net

PostgreSQL

IIS

ESET Server
Security

OS : Windows Server2022 Std

インターネット

R6年度システム改修実施

- ・OSのサポート提供に伴う入替
- ・一部検索操作機能向上等システム改修

感染症対策部
保健所等

サーバールーム内サーバ

R8度システム改修

- ・消防庁側クラウド化に伴う通信回線入替
- ・一部機能の復活に目指しシステム改修

事務所内管理用PC

救急搬送サーベイランスシステム（解析システム）

PostgreSQL

STATA15

Tomcat

JRE (Java)

OS : Windows11

専用回線

消防庁

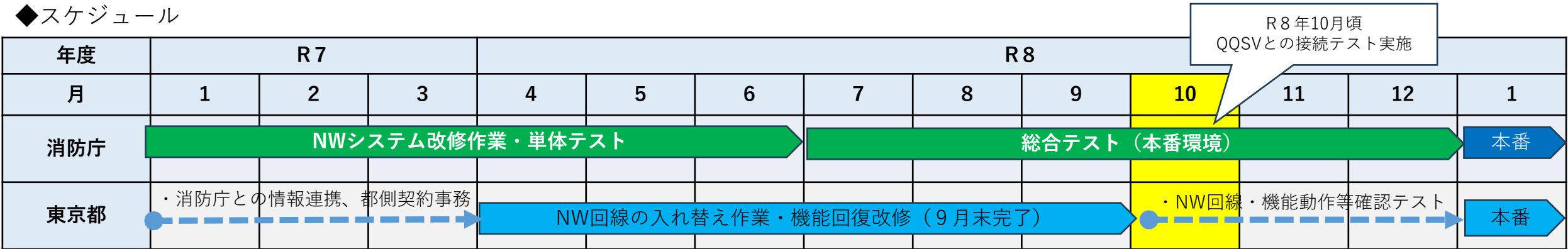
R 8 救急搬送サーベイランスシステム（QQSV）の改修について

R 8 改修内容

1 通信回線の入替

- 東京消防庁より、通信システムのクラウド化に向け、R8年度に通信体系刷新の改修がされる旨情報を受けた。【庁舎内の管理サーバーからクラウドセンター（クラウド事業者）に、通信システムや回線系統を移設】
- 東京消防庁からの救急搬送情報を受ける救急搬送サーベイランスシステム（QQSV）側の解析システムは、現在NTT東日本のISDN回線（INSネット）を使用しており、消防庁側の移設工事に伴い、QQSV側回線の消防庁側システムへの接続には移設工事が必要となる。しかし、INSネットは2028年12月31日で全てのサービスが終了し、2024年時点で既に新規・移設工事の申込みが終了しているため、QQSV側の回線もR 8 年度には切替えが必要となる。

◆スケジュール



2 廃止した機能の復活

- R 6 年度のシステム改修時に、搭載されていた次の2つの機能を廃止したが、システムの本来持つ機能の低下と形骸化を招く要因になっているため、機能の回復と強化を目指す。
 - ①異常探知時メール送信機能
異常が確認された場合、予め設定されているアドレスに異常を探知した旨とその内容を送信する機能
 - ②地図表示システム
東京都全体の地図を表示し、異常探知した区域を色で表示することで、異常が発生している区域を確認できるシステム

R8 救急搬送サーベイランスシステム（QQSV）の改修について

異常探知時メール（自動アラートメール）送信機能

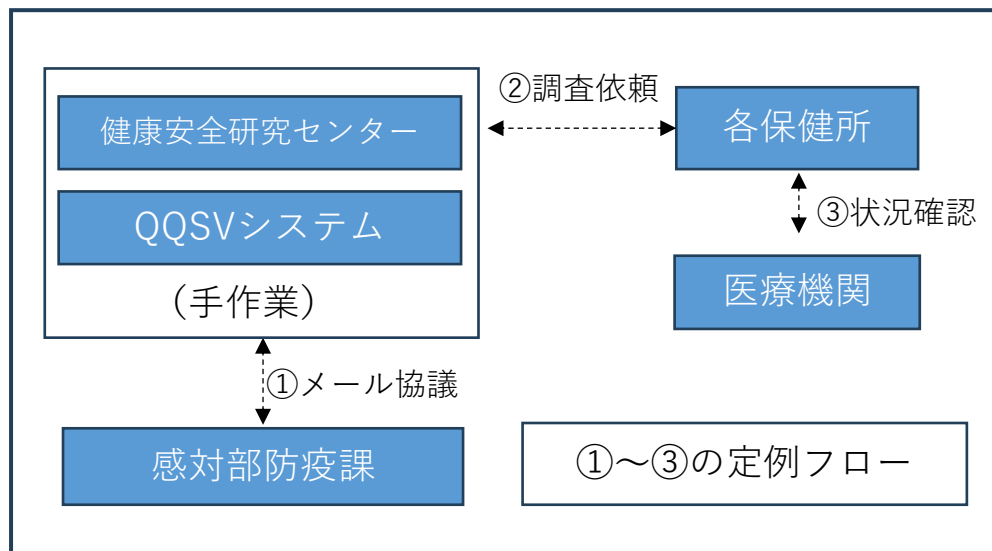
○現在アラート発生時の連絡は、健康安全研究センターの担当が毎朝集計等を行い、防疫課にメール連絡（基本は手作業）

- ・いち早く情報を把握し、感染拡大を防止するためのシステムだが、検索方法やアラート連絡体制が非常にアナログで、本来の目的を果たしていない状態になってしまっている。（健安研の一部の職員と、ごく一部の保健所がシステムを確認するのみ。）

○アラートメールの自動配信機能を復活

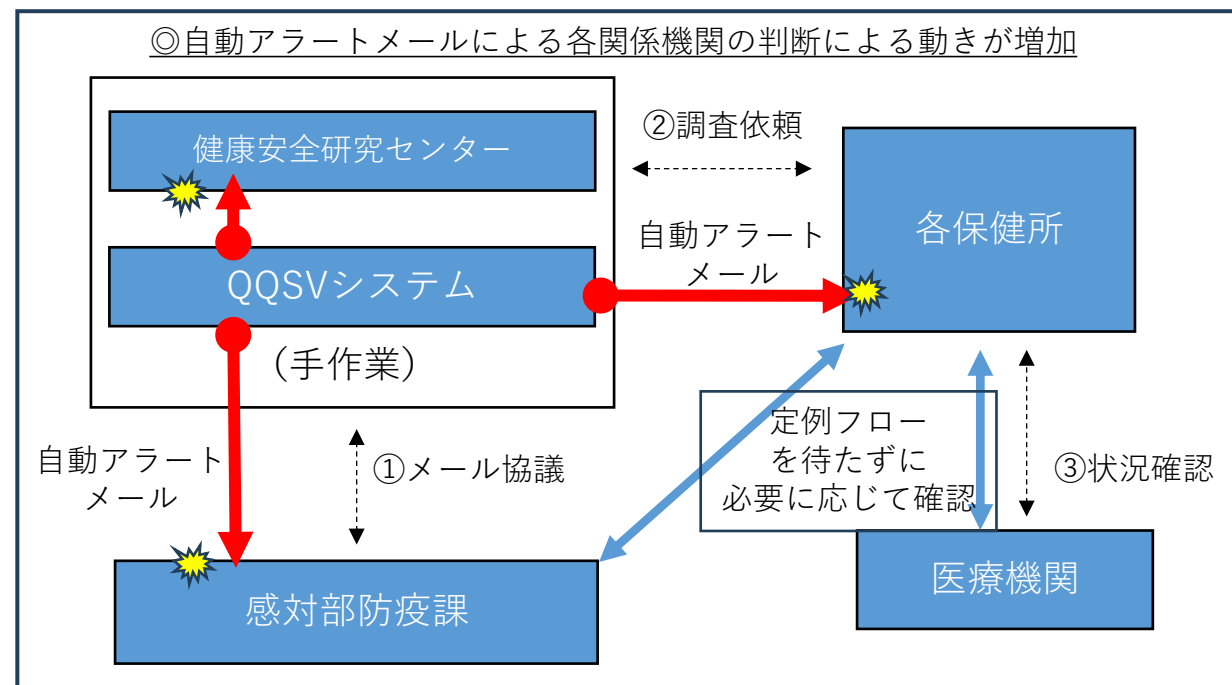
⇒アラート発生事案に係るメールでの自動周知機能を復活させ、システム側で把握次第、各関係機関担当者にアラート情報が自動的に届くようにする。これにより、関係機関等による迅速な事態の把握と対応を可能にし、本来の目的である感染拡大の防止を果たすことにつながる。

◆現状



- 定例フローのみでは、健安研の手作業での集計作業のみが起点となり、迅速な情報伝達・確認作業が不可能となる。また、日々の処理が事務化し、事務フローや担当者意識等の形骸化を招く。
- 自動アラートメールにより、システムで異常を探知次第、各関係機関担当者に即時にメールを送信することで、迅速な情報伝達と確認作業が可能となる。

◆異常探知時メール復活後



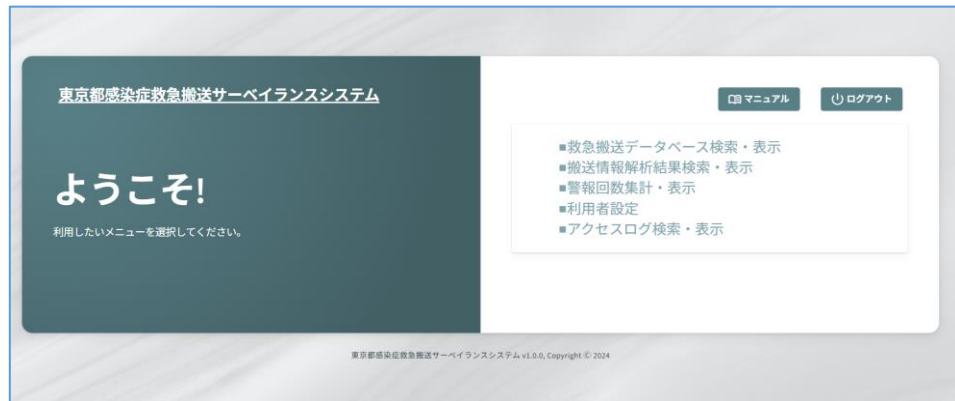
※現在は、消防庁からの情報共有は1日1回だが、1時間に1回程度の情報共有について、協議中である。

R8 救急搬送サーベイランスシステム（QQSV）の改修について

地図表示機能

- QQSVシステムは、救急搬送情報内に潜む感染症事案の継続的な監視及びモニタリングも本来の設置目的であり、地図表示機能はその目的を満たす機能の一つである。
 - ・地図表示機能の廃止により、トップ画面も日々のルーティン作業を行うための構成になっており、健安研のみが使用している状況である。
 - ・救急搬送事案から早急な情報連携や内部への展開に当たり、一覧表資料のみではなく、地図等位置関係を示す画像資料は必須となる。
- 地図表示機能の復活により、本来の監視及びモニタリング体制の維持と、関係機関の連携強化を図っていく。
 - ・各関係機関でリアルタイムで監視及びモニタリングを行うことができる体制とし、必要に応じて迅速かつ柔軟な情報交換等行う体制にする。

◆現行画面



ログインして集計作業をするための画面になっている

現行画面に地図表示を組み込む

※消防庁からの情報共有を1時間に1回程度の情報共有に増加させることで、継続的なモニタリングが可能となる。

●表示地図機能（案）

